プレスリリース

2016 年 11 月 4 日

株式会社ミック経済研究所

■UNIX・Windows 対応ミドルウェアパッケージソフト市場は、下記の統合運用管理、RDBMS、バックアップなど 10 分野で構成され、2015 年度は 3,441.6 億円、前年対比 106.6%となり、IoT・ビッグデータへの適用など、その採用領域を拡げている。

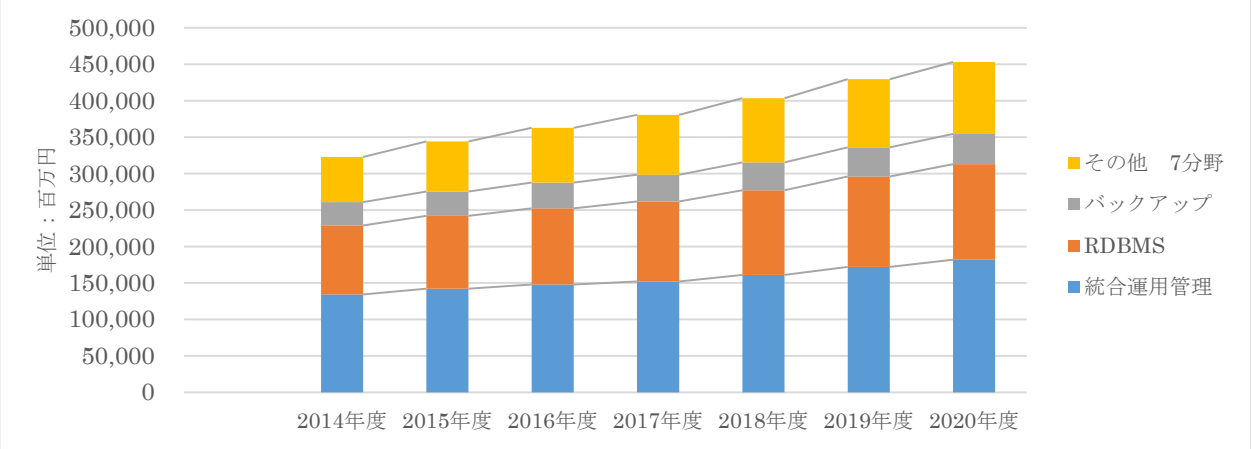
■同市場のうち統合運用管理パッケージは 41.3%を占め最も大きい。2015 年度の市場規模 1,421.5 億円、前年対比 105.8%で IT 運用自動化など、適用領域拡大が市場を押し上げた。

IT/ネット分野専門の市場調査機関である株式会社ミック経済研究所（本社：東京都港区、社長：有賀 章）は、UNIXおよびWindowsをプラットフォームとしたサーバ対応のミドルウェアパッケージソフトの市場動向を捉えた「IoTへ採用加速する ミドルウェアパッケージソフトの市場展望 2016年度版」を発刊したと発表しました。2016年度版は総合ソリューションベンダー・ソフトウェアベンダー28社を調査対象にしています。この調査は直接ヒアリングから各社の数値をベースに積み上げ、2014年度から2016年度の市場規模と、2020年度までの中期予測を行っています。 調査結果の概要は、以下のとおりです。

＜統合運用管理パッケージ市場＞

統合運用管理パッケージの出荷金額は、2015年度は1,421.5億円、前年対比105.8%と堅調な推移を示し、10分野別のミドルウエアパッケージソフト市場に占める構成比41.3%と最も大きな市場規模となっている。IT運用自動化の属人性排除によるオートマチックオペレーションなど、適用領域拡大が市場を押し上げた。ビッグデータやAIを含めたIoT市場向けのIT投資の押上げにより、2016年度以降も堅調な市場推移が見込まれる【図表１参照】。

【図表１】10分野別市場規模中期予測



(単位：百万円)

製品分野	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
統合運用管理	134,300	142,150	147,810	152,000	161,000	172,000	182,000
RDBMS	94,630	99,920	104,560	109,800	116,300	124,000	131,000
バックアップ	32,080	33,300	35,320	36,700	38,000	40,000	41,500
その他　7 分野　小計　※	61,840	68,792	75,026	82,028	88,200	93,600	98,600
合計	322,850	344,162	362,716	380,528	403,500	429,600	453,100

※DWHアプライアンス、CEP、IT資産管理、HAクラスタリング、ETL、帳票設計、帳票運用

＜RDBMS市場＞

RDBMSの出荷金額は、2015年度は999.2億円、前年対比105.6%と堅調な伸びを示している。市場構成比は29.0%。これは、データベースの高速化がシステム統合推進の一つの役割を担ったことや、通信や流通系の大型案件などの押上げが背景にある。また、日本オラクルは、2016年1月、Oracle Databaseのライセンス体系を変更、中小規模システム向けで安価なStandard Edition One（SE1）を廃止、Standard Edition 2（SE2）に一本化した。これにより、ユーザーはライセンス追加購入やシステム構成の見直しを迫られることとなった。日本マイクロソフトは、このSE1提供終了に伴うSQL Server 2016へのリプレースを促進しシェア拡大に繋げた。

報道関係からのお問い合わせ

株式会社ミック経済研究所

担当：増坂　浩一

東京都港区芝 4-7-8　芝サンエスワカマツビル 10 F　　URL http://www.mic-r.co.jp

Tel.: 03（5443）2991　e-mail : kmasuzaka@mic-r.co.jp